

よしみまがはい

新涼を走る!

春は桜の舞い散るなか 秋は彼岸花
の絨毯^{じゅうたん}につつまれ ぼくは風をきり疾
走する 人々を魅了するふるさとの風
景 いつまでも残したい心のふるさと

吉見町飯島新田の桜堤で撮影

撮影・文 長 洋弘^{ちやう ようひろ}さん(写真家・作家 南吉見)

10号

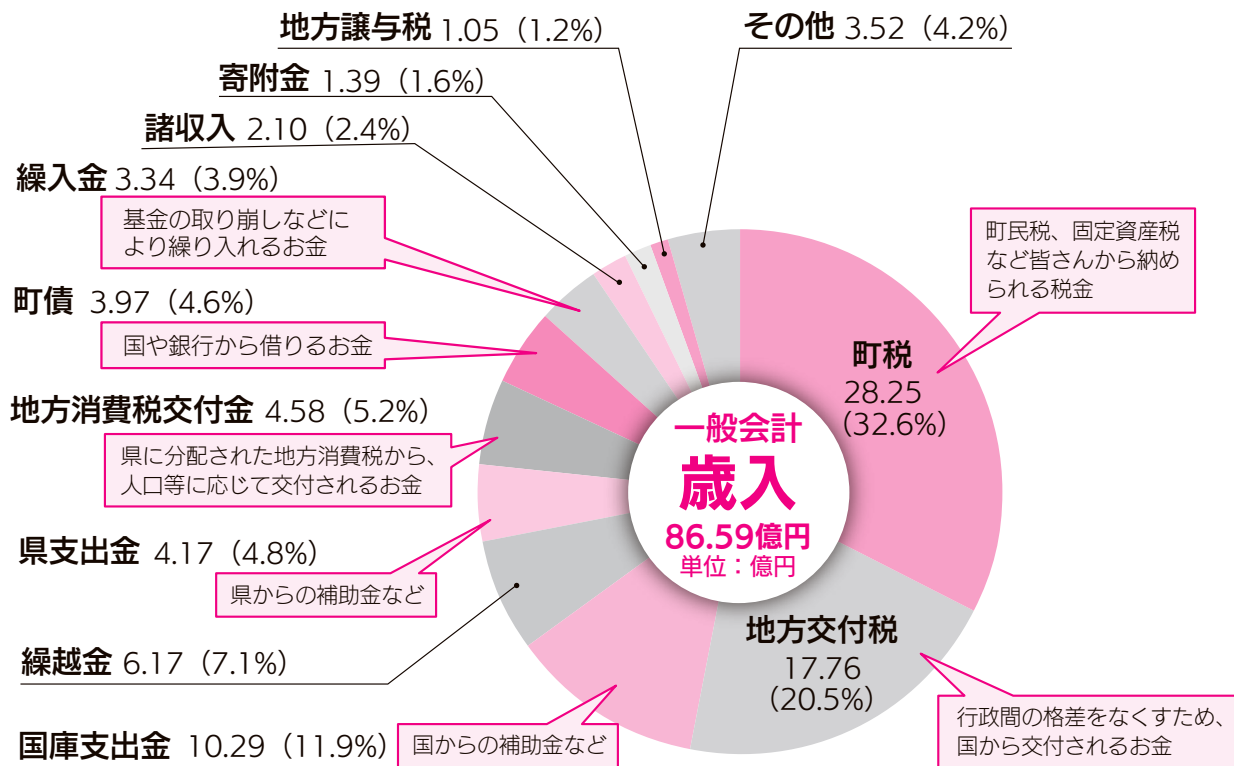
2025.11

No.177

7年9月定例会

- 令和6年度決算ここをチェック・・・ P2～7・10
- 補正予算案に賛成全員 …………… P8～9
- 審議の結果は …………… P11
- 町の考えを問う 一般質問に11名・・・ P12～18
- 一部事務組合報告 …………… P18
- 学校給食 調理と配膳を視察 ……… P19

9月議会定例会



ここをチェック！

令和6年度に実施した主な事業をピックアップ



子育て家庭を支援

こども家庭センターの開設

▶子育て支援課

家庭でも学校でもないこども第三の居場所として、こどもの居場所を開設しました。

また、妊娠期から子育て期にわたる継続した支援につなげるため、保護者のリフレッシュを目的とした一時預かりや不登校支援の懇談会、子育てに対する不安の軽減や悩みの相談など、各種事業を実施しました。



教育環境充実に向けて

生徒学力向上推進事業

▶教育総務課

武蔵丘短期大学と連携し、中学校3年生を対象にキャリア教育の一環として短大体験事業を実施しました。

比企広域電子図書館の利用状況

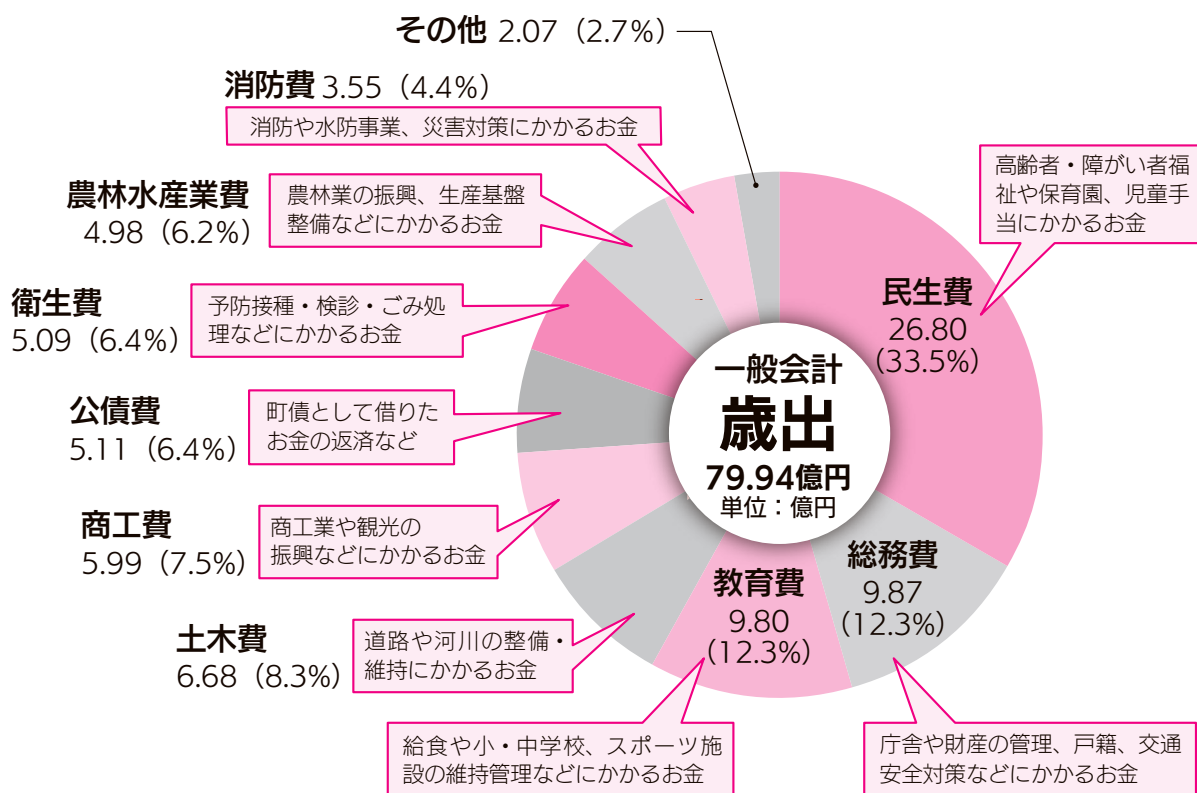
▶生涯学習課

学校連携の開始により町内小中学校の児童生徒および教職員1091人が登録しました。

令和6年度の決算を認定

9月定例会は、9月2日から9月19日までの18日間の会期で行われました。

今定例会は、令和6年度の各会計決算認定、令和7年度一般会計および特別会計等補正予算、条例の一部改正、人事案件等の23議案が上程されました。町長提出議案のすべてが、可決、認定、同意されました。



持続可能な町へ

地方債残高の状況

▶自治財政課

一般会計地方債残高約52億円のうち、約62%を臨時財政対策債が占めており、償還に要する費用約32億円は、後年度の地方交付税で全額措置されることになっています。

照明設備改修工事

▶町民健康課、長寿福祉課

福祉会館、悠友館、保健センターの3施設と荒川荘の照明設備をLED照明に改修しました。



誰ひとり取り残さない社会へ

防災施設管理事業

▶総務課

町が寄附を受けた田甲地区のまとまった土地と隣接する民有地、約1000㎡の土地を緊急避難場所として一体的に整備するために購入しました。

老人福祉センターの備品購入

▶長寿福祉課

荒川荘の利用者がより快適に施設を利用できるように、ふるさと納税を活用して備品を購入しました。

大規模災害に備えて 高台に緊急避難場所の整備



総務建設常任委員会 決算報告

柳谷 泉 委員長

令和6年度吉見町一般会計決算のうち、議会事務局、総務課、自治財政課、総合政策課、産業振興課、農業委員会事務局、税務会計課、まち整備課が所管する決算について、主な審議内容を報告します。

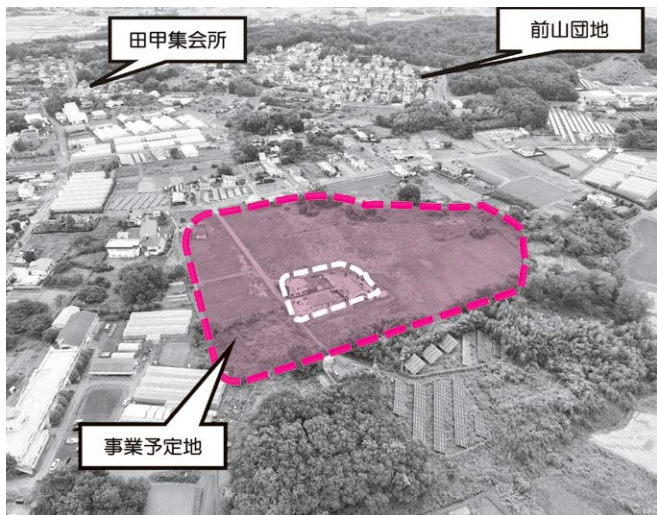
Q

防災施設管理事業での土地購入は

▶総務課

A

田甲地内にまとまった土地の寄附を受けていた土地と隣接する民有地を国の社会資本整備総合交付金を活用し、3筆、約1000㎡を購入しました。



実際の事業地と異なる場合があります

Q

自主財源有料広告掲載料の内容は

▶総務課

A

広報紙は14社で88万5000円、ホームページは15社で72万円となっています。1カ月当たりの掲載料は、広報紙の下1段が1万5000円、下1段の2分の1が7500円、バナー広告1枠が5000円となっています。

町の公共性、中立性およびその品位を損なうおそれがあるもの、公序良俗に反するおそれがあるものなど要綱に規定されている掲載基準に合わないものは掲載しません。

Q

地域活性化事業補助金の内容は

▶総合政策課

A

町の地域活性化に寄与する事業を提案し、実施する事業者に対して、企業版ふるさと納税寄附金を財源に、補助金を交付するものです。令和6年度は、プロスポーツによる技術提供事業と、よしみまち知名度向上事業の2つの事業を採択しました。

技術提供事業では、選手や専属トレーナーによる専門性の高い指導が受けられ、スポーツに親しむ機会を増やすことにより、子どもたちの体力の向上が図られています。

知名度向上事業では、公式ユニフォームに吉見町の名前を掲載し、選手が試合や県内外のイベント等に参加することで、吉見町を広く知ってもらう機会の拡大につながっています。

Q

国際理解展示事業とは

▶自治財政課

A

図書交流館において、国際理解などに関する図書や国際交流基金日本語国際センターの参加者を対象としたワンナイトステイ事業のパネル展示をして、多くの方に来館いただきました。



Q 定住化促進奨励金の見直し内容は ▶総合政策課

A 幅広い世代に拡充し、町内に定住する目的で住宅を取得する方を対象に、住宅支援として20万円、加算要件として、子育て世帯、中古住宅の取得、市街化区域内への居住に該当する場合には、それぞれ10万円を上乗せして交付しました。



Q 地方税共同機構とは ▶税務会計課

A 地方税法に基づき地方自治体が共同して運営している団体で、地方税の電子申告や電子納付、国税連携等のサービスであるeLTAX（エルタックス）等の運営を行っているほか、地方自治体の職員に対し、研修等も実施しています。

負担額の算出は均等割のほか、税收や納税義務者数、軽自動車台数を基礎に算出しています。

Q ふるさと納税の実績は ▶産業振興課

A 令和6年度の寄附額は9357万7000円で前年度と比較して46.7%減少しています。減額の主な要因は、主要な返礼品が他の自治体においても取り扱われるようになったことが考えられます。

主なポータルサイト別寄附件数の割合は、さとふる51.5%、楽天26%、ふるなび11.6%、ふるさとチョイス8.1%です。

Q 大和田地区アクセス道路整備の進捗状況は ▶産業振興課

A 埼玉県企業局と共同で進める大和田地区産業団地整備に伴い、増加が見込まれる大型車の通行に対応するため、令和3年度から道路舗装の耐久性を高める整備に着手し、令和8年度の完了を目指して進めています。

Q 農地の最適化活動の状況は ▶農業委員会

A 令和6年度末の集積率は46.3%でした。引き続き町の目標である56%の達成をするため、農地中間管理事業を活用し、さらなる利用集積に努めます。

Q 第二次スクリーニングの内容は ▶まち整備課

A 過去に埼玉県が実施した第一次スクリーニングで抽出された町内44カ所の大規模盛土造成地において、町では、現地踏査および優先度評価を実施しています。このうち、最も優先度が高い箇所を第二次スクリーニング候補地として選定し、ボーリング調査を実施して調査結果の解析を行いました。

解析結果は、即座に対応すべき盛土であるとはいえないが、経過観察により継続的な安全確認を行う必要があるとの結果でした。今後は、定期的に現地踏査による経過観察を行います。

Q 迂回路用地算定の内容は ▶まち整備課

A 主要地方道東松山鴻巣線4車線化に伴う迂回路整備のため、道路用地を購入しました。また、土地の価格は、不動産鑑定評価により算定しています。さらに、物件補償料の残地補償は、用地買収により残地面積が過少になるなど、土地価格の減少が生じる場合において、元の土地価格との差額分を補償しています。

慎重審議の結果、賛成全員をもって原案のとおり決算認定されました。

妊娠期から子育て期の継続的な支援の充実 こども家庭センターおよび子どもの居場所開設

文教生活常任委員会 決算報告

秋山 真美 委員長

令和6年度吉見町一般会計のうち、本委員会が所管する町民健康課、長寿福祉課、子育て支援課、環境課、水生活課、教育総務課、生涯学習課の決算、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険特別会計決算、水道事業、下水道事業企業会計決算について、主な審議内容を報告します。

Q 戸籍法改正に伴うシステム改修事業の内容は ▶町民健康課

A 戸籍情報システム等に公証された氏名の振り仮名を登録できる機能を追加。戸籍上の氏名がローマ字でマイナンバーカードに記載できるようになりました。

Q 産後ケア事業の実績は ▶町民健康課

A 出産後1年以内の母子に対して、助産師等が居宅を訪問し、身体的・心理的ケア等を実施する居宅訪問型事業で、実施件数は20件です。

Q 緊急通報システムの利用は ▶長寿福祉課

A 緊急通報システムは、町内に住む65歳以上のひとり暮らし等の高齢者の申請により町が自宅へ設置します。緊急時には非常ボタンを押し消防本部へ直接通報できる仕組みで、設置数は77世帯でした。

Q 照明設備改修(LED化)工事を行った施設は ▶長寿福祉課

A 福祉会館、悠友館、保健センターの3施設と老人福祉センター荒川荘の照明設備をLED照明に改修しました。消費電力が抑制され、ゼロカーボンへの取り組みにもつながっています。

Q 老人福祉センター荒川荘の備品購入費の内容は ▶長寿福祉課

A 折りたたみテーブル20台、スタッキングチェア85脚および椅子用台車2台を購入。財源には、ふるさと納税を活用しています。



Q こども家庭センターの運営状況は ▶子育て支援課

A 令和6年度開設され、妊娠期から子育て期にわたる継続した支援の促進や子育て中の家庭への保健師等の専門職がより丁寧に相談支援に関わることができるようになりました。また、一時預かりや公認心理師を交えた不登校支援の懇談会等、子育てに対する不安の軽減や悩みの相談につながるきっかけとなる事業を実施し、保護者支援に取り組んでいます。



Q 子どもの居場所づくり事業の内容は
▶子育て支援課

A 公益財団法人B & G財団から助成を受け、家庭でも学校でもない子ども第三の居場所として、こども家庭センター2階に、こどもの居場所を開設しました。

Q 統合小学校建設基本設計・実施設計委託料の内容は
▶教育総務課

A 令和6年度から令和7年度までの2カ年の業務委託契約を締結しています。

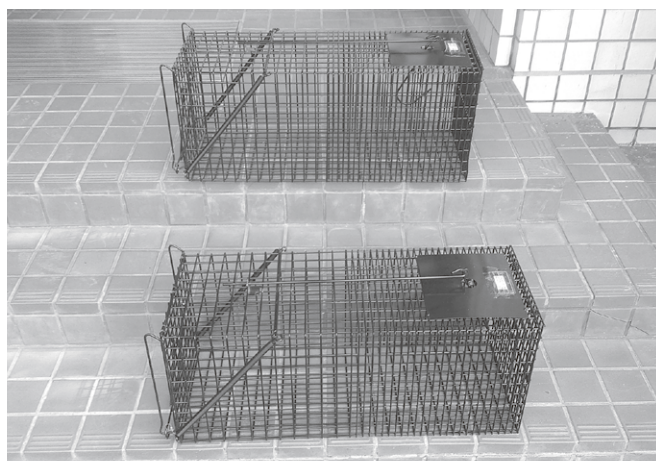
令和6年度は、建設基本設計および吉見中学校旧校舍等解体工事設計のほか、解体予定建物のアスベスト調査や建設予定地の地盤調査等を実施しました。

Q 町民会館の安全対策工事の内容は
▶生涯学習課

A 外壁材の落下による事故を防ぐため、壁面に沿ってバリケードを設置し、出入口には頭上を守るための防護対策をしました。

Q 有害鳥獣の捕獲対策は
▶環境課

A 捕獲数は増加傾向にあります。これに対し、「個人や行政区で箱わなを購入した場合に補助金を交付するなど、さらなる対策を検討してほしい」と要望しました。



箱わなを町で貸し出しています

Q ごみ収集カレンダーの多言語対応の作成は
▶環境課

A 現在、5カ国語に対応したごみ収集カレンダーを作成し、ホームページへの掲載、窓口配布、個別指導の際の資料として活用しています。



Q ブランチ型総合相談事業の内容は
▶長寿福祉課

A 高齢者やその家族等から寄せられる多様な相談に対応するため、介護老人福祉施設を運営する2法人に、24時間365日相談を受け付ける窓口業務を委託しています。

Q 上水道台帳管理システム改修業務委託料の内容は
▶水生活課

A 上水道台帳管理システムの改修では、①水の流れや圧力の分布をシミュレーションする管網解析、②水道管の経過年数や漏水履歴のほか、土壌や標高等の多様な環境データをAIに学習させることで、水道管の劣化状況を診断し、漏水リスクを判断する機能を増設しました。

システムにより、漏水リスクが高いと判別された路線を重点的に調査することで、漏水箇所を効率よく発見することが期待できます。

慎重審議の結果、教育総務課、町民健康課、水生活課所管の決算は賛成多数でしたが、すべて原案のとおりの決算認定されました。

主な議案の内容

※紙面の都合上、主な質疑を掲載しています。

議案 54

令和7年度一般会計補正予算(第3号)

2億1305万4千円を追加し、予算総額を91億1187万6千円に

賛成
全員

主な歳入

(1万円未満切り捨て)

①広域避難連携推進事業補助金	61万円
⑤企業版ふるさと納税寄附金	10万円
○地方交付税	1億766万円
○物価高騰対応重点支援(定額減税不足額給付分)	9079万円
○子ども・子育て支援交付金等(国・県1/3ずつ)	658万円
○前年度繰越金	2億9921万円

主な歳出

(1万円未満切り捨て)

②地域防災事業(印刷製本費・通信運搬費)	37万円
③小学校維持管理事業修繕料	55万円
④農業構造改善センター解体工事(アスベスト撤去分)	543万円
⑥フレンドシップ・ハイツよしみ施設維持管理工事	6111万円
⑦学童保育事業委託料	993万円
⑧中学校空調設備設置設計単価見直し	920万円

フレンドシップ・ハイツよしみ整備箇所 *埼玉県ふるさと創造資金の交付決定を受けました*

- ①ろ過装置(4カ所) ②宿泊棟トイレ ③浴室系統設備 ④体育館系統設備 ⑤浄水場ポンプ
⑥浄化槽、受水槽ポンプ ⑦周辺環境整備

問 1

県からの広域避難連携推進事業補助金は、どの事業に使われるのか。

答

災害時協定を結んでいる北本市と共同で行われる12月14日に予定されている避難訓練に充当する。

問 2

地域防災事業の印刷製本費と通信運搬費の内容は。

答

令和7年度内に広域避難計画の策定と町民アンケート調査を行う。

問 3

小学校維持管理事業修繕料の内容は。

答

北小学校の校舎は昭和41年建設で老朽化も進んでいる。屋上の防水シートの劣化による雨漏りの修繕を実施した。

問 4

当初の設計でアスベストの含有箇所が5箇所から10箇所に増えたのはなぜか。

答

当初の段階で細部にわたる調査が出来なかった。

アスベストの調査で11検体から24検体に追加になったのは。

請負業者に確認したところ、細部にわたる調査が必要ではないかということだった。

設計金額572万円を支払ったがその後の処置について。

設計者は、検査を受け成果品として受領しているのでペナルティ的なことは出来ない。



秋山 真美
議員



岩崎 勤
議員



総務課長



教育総務課長



産業振興課長

問 5

2027年度まで制度は延長されるが、町も税収確保へ積極的に取り組む必要がある。国が行う企業とのマッチング制度活用を。

答

国としてもさまざまな機会を設けているので、町としても積極的に活用していきたい。

総合政策課長

問 6

なるべくお金をかけずに再生工事を実施したが、結局オープンに至らず、約6100万円を再投入。設計段階で工事箇所を決めたのは誰か。

答

町と設計会社、のちの運営事業者の3者で協議して決めた。

産業振興課長

基本協定書には耐震補強がされていない建物やアスベストを含むこと、建築年数などの重要な情報の記載がない。契約を見直し、締結し直す考えは。

事業者と鋭意調整し、ご指摘の内容も盛り込んだ契約書の見直しを考えていきたい。

副町長

当初の説明では、概算で3000万円程度、今後の点検調査によって数千万単位で増える可能性もあるとのことだったが、倍以上の金額になった理由は。

当初の概算費用は、トイレや温浴設備。その後の詳細調査で、給排水設備に劣化や腐食を確認。施設周辺の枯れ木伐採も含め、計上額に至った。

6月議会の一般質問でふるさと納税の活用を求めたが、全額一般財源の理由は。

補助率1/2、最大2500万円の補助が受けられる埼玉県ふるさと創造資金を現在申請中のため、今議会では一般財源で計上している。

産業振興課長

修繕を議会が認めなかった場合、これまで充当された補助金や交付金の返還義務が生じるか。仮に解体する場合は、補助金や有利な地方債はあるか。

オープンをしなかった場合は、返還等の影響が考えられる。解体のみ実施する場合は一般財源で対応することになると考えられる。

問 7

東第一小体育館を借用した学童の開設、運営との説明があったが委託料との関係、詳細は。

答

体育館内にある会議室を借用し、支援の単位を増やす方向で事業者と調整を図り、基準を満たす形に整えられたため補正をした。

1つ支援の単位が増えて、受け入れ人数はどれくらい増えたのか。

保育専用区画として、会議室の床面積から24名。

子育て支援課長

問 8

設計変更で920万円補正する内容、理由は。

答

資材価格や人件費の高騰が続いている影響で、入札が2回不調となった。現状に合わせて単価を見直して設計額の変更をした。

いつから使えるようになるのか。

今年度内での事業完了を予定しており、速やかに使用できるよう予定している。

教育総務課長

賛成



残して活かす選択こそ現実的

杉田しのぶ議員

賛否の分かれるフレンドシップハイツよしみに絞って賛成理由を述べる。リニューアルオープンせずに、閉ざされたままとなれば、施設は急速に荒廃していくことが考えられる。災害時に活用する場合、維持管理も必要となるが、

管理が十分でなければ人の目が届きにくい場所のため、荒れた施設に動物が住み着く可能性も考えられ、町の景観や衛生面でも大きなマイナス。

交付金や補助金返還のリスク、廃墟化や景観も含めた環境上の問題、解体に補助金や有利な地方債がないことを踏まえれば、「残して活かす」選択こそ現実的。

反対



直営での学校給食の実施を

日本共産党 福田 妙子議員

反対理由は学校給食センター。調理業務等が民間委託されて、1年8カ月が経過した。センター内のコミュニケーション、衛生、食育等に懸念されることがあると聞いている。

近年の猛暑の中、調理員さんの命と健康を守ることが、極めて重要。それが、ひいては安全・安心の学校給食に結び付く。

学校給食に携わるすべての人々と話し合い、町の調理員さんが調理し、町の子どもたちに食べてもらう、直営での学校給食の実施を希望する。

賛成



労働環境整備しっかり取り組む

杉田 しのぶ議員

反対討論にあった学校給食センターに絞り賛成討論を行う。

令和6年度3月当初予算では、予算修正動議が出され私も賛成したが、議会の多数決で修正予算は認められず、その結果を受け予算全体に賛成した。

文教生活常任委員長報告にはなかったが、耐用年数の過ぎた空調設備の入れ替えなど町で整えるべき労働環境整備は、しっかり取り組むとの答弁もあった。安全で安心な給食提供のためには、労働環境の整備は不可欠。

議会での議決結果は尊重し、今後もしっかりチェックをし、改善すべきとの立場で賛成。

「議会広報に工夫を」 議員が研修



全国の広報担当議員を対象とした研修が東京渋谷のLINE CUBE SHIBUYAで8月28日に行われ、町議会から議会だより編集特別委員会5名も参加しました。「議会広報に住民のインタビュー記事掲載を」、「スマートフォンで動画撮影して、議会広報と連動を」、「議会広報と連動して議会活性化を」というテーマで講師が工夫を求め、全国から集まったおよそ900人が耳を傾けました。今後に活かしていきたいと思います。皆さまの声を聞かせてください。



人 事

教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員に
小川かづ江氏を
任命同意
(新任)しました。

一ツ木在住



町議会を傍聴してみませんか

吉見町議会 12月定例会

12月2日(火)から開催される予定です。

傍聴人受付票に住所、氏名、年齢を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。
また、耳の聞こえにくい方にはイヤホンの貸し出しを行っています。お気軽にお越しください。

詳しいことは、町議会事務局までお問合せください。

TEL 0493-63-5024 (ダイヤルイン)

定例会・臨時会の本会議を動画配信しています。
ライブ配信または録画配信は、このQRコードを読み込んでご覧ください。

https://smart.discussvision.net/smart/tenant/yoshimi/WebView/rd/council_1.html



議 案 審 議 結 果

町長提出議案

議案番号	件 名	参照	結果	福井	伊藤	福田	吉田	宮尾	新井	大野	柳谷	秋山	尾崎	岩崎	杉田	小宮	宮崎
議案第45号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、 部分休業制度に係る規定の改正	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第46号	吉見町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部 を改正する条例 育児・介護休業法、次世代育成支援対策推進法の一部改正 に伴い、職員の仕事と育児を両立できる環境の整備	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第47号	吉見町行政手続における特定の個人を識別するための番号 の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正 する条例 番号利用法の規定に基づき個人番号を利用する事務を追加 および所要の規定の整備	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第48号	吉見町税条例の一部を改正する条例 地方税法の一部改正に伴う関係規定の改正、その他所要の 規定の整備	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第49号	吉見町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改 正する条例 埼玉県重度心身障害者医療費助成制度の対象拡大に伴い、 所要の規定の整備	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第50号	吉見町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の 一部を改正する条例 盛土規制法等の適用を受ける盛土等について条例の規制対 象外とする改正	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第51号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正 する条例 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、 部分休業に係る規定の改正	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第52号	町道路線の廃止について 大和田地区産業団地整備事業に伴う廃止	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第53号	町道路線の認定について 大和田地区産業団地整備事業に伴い新たな路線として認定	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第54号	令和7年度吉見町一般会計補正予算（第3号） 91億1187万6千円（2億1305万4千円増額）	P8・9	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第55号	令和7年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 23億7598万2千円（559万9千円増額）	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第56号	令和7年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 3億1824万9千円（650万6千円増額）	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第57号	令和7年度吉見町介護保険特別会計補正予算（第2号） 19億5598万9千円（7031万7千円増額）	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第58号	令和7年度吉見町下水道事業会計補正予算（第2号） 人件費の変更、通信運搬費および修繕費の増額	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第59号	令和6年度吉見町一般会計決算認定について	P2～7・P10	認定	●	●	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第60号	令和6年度吉見町国民健康保険特別会計決算認定について	P2～7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第61号	令和6年度吉見町後期高齢者医療特別会計決算認定について	P2～7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第62号	令和6年度吉見町介護保険特別会計決算認定について	P2～7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第63号	令和6年度吉見町水道事業会計決算認定について	P2～7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第64号	令和6年度吉見町下水道事業会計決算認定について	P2～7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第65号	教育委員会委員の任命同意について 長嶋和義氏の任期満了に伴い、小川かづ江氏を新任	P10	同意	×	●	●	×	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第66号	請負契約の締結について 吉見中学校体育館空調設備設置工事	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長
議案第67号	請負変更契約の締結について 農業構造改善センター解体工事	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	議長

町政に対する 一般質問

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。（持ち時間1人60分以内）

議会日よりでは本人の原稿をもとに、その内容を編集委員会で編集し、掲載しています。

1 福井 学 議員

P13

問 気候変動への対応は
その他の質問
小学校統合再編計画の見直しは



7 伊藤 えりか 議員

P16

問1 GIGAスクール構想と子どもの健康
問2 日本語を母国語としない児童・生徒への対応



2 新井 寛雄 議員

P13

問1 小学校統合再編
問2 今後の市街化区域は
問3 町道の今後は



8 宮尾 美千代 議員

P16

問1 八丁湖周辺の安全整備
問2 消防団員確保の推進
その他の質問
学校図書室の整備



3 福田 妙子 議員

P14

問1 給食無償化を
問2 マイナ保険証の安全は
問3 学校の役割は



9 秋山 真美 議員

P17

問1 子育て支援・産後ケア
問2 小学校統合に関する住民の声
その他の質問
空き家・空き地
公立学校の防災頭巾とヘルメット
水の事故から命を守るライフジャケットの活用



4 岩崎 勤 議員

P14

問1 設置条例の制定および改正
問2 統合小学校基本設計（案）による事業費
問3 文覚川と東第二幹線排水路の整備



10 杉田 しのぶ 議員

P17

問1 帯状疱疹ワクチンへの補助の継続
問2 小学校統合に向けての経過
その他の質問
建設国保への補助の増額
住宅リフォーム補助金制度の拡充
森林環境譲与税の活用



5 吉田 克之 議員

P15

問1 フレンドシップハイツ・よしみのオープンは
問2 米の安定供給を



12 柳谷 泉 議員

P18

問1 公共交通の現状と課題
問2 移動販売事業の課題
その他の質問
ふるさと納税



6 大野 陽康 議員

P15

問1 町民体育祭
問2 小学校の統合・再編計画
問3 学校の教育活動



スマホで
二次元バーコードをチェック
各議員の動画が見られます。



住民の命 どう守る

【町の答え】

孤立を防ぎ、見守りの目を増やす

ふくい まなぶ
» 福井 学 議員



猛暑と熱中症

問 町内における令和7年7月、8月の熱中症による救急搬送状況は。

答 7月に6名、8月に5名が熱中症で救急搬送された。7月は全員が65歳以上、8月は2名が65歳以上、18歳以上65歳未満が3名。発生場所は住宅内が多い。

問 高齢者のエアコンの設置状況は。

答 高齢者福祉計画・介護保険事業計画を作成した際、令和5年1月に町内65歳以上の方を対象としたアンケート調査を町で行い、その中で自宅のエアコンの設置状況を尋ねた。アンケート配布件数5603件、有効回答数3658件のうち、自宅にエアコンを設置していないと回答したのは88件、全体の2.4%という結果だった。

問 他自治体では民生委員の見守りや声かけを今夏、これまで以上に増やしていると聞く。町を挙げて住民の命を守るには何が必要か。

答 少子高齢化や単身高齢者世帯の増加などで、民生委員の負担が増加している。民生委員など特定の人に頼るのではなく、町民一人ひとりが「自分も地域の一員」という意識を持って、お互いを支え合える仕組みを広げていくことが重要と町では考えている。その手段の一つとして、地域サロン活動や居場所づくり活動をさらに充実させ、住民同士が自然に交流できる場をつくることで、孤立を防ぎ、見守りの目を増やしていきたい。見守り活動は特別な資格や経験がなくても始められる、誰にでもできる優しさのかたち。見守り活動を通して、町民一人ひとりが優しさのかたちを実践できるよう、その支援、啓発にも努めていく。



学びの機会 どう提供

【町の答え】

社会性や協調性向上を目指す

あらい ひろお
» 新井 寛雄 議員



小学校統合再編

問1 子どもたちにどのような学びの機会を提供し、どのように成長していくことが望ましいと考えているか。

答 一定規模の児童数の中で、多様な考え方に触れ、切磋琢磨することを通して、児童の社会性・協調性等の向上を目指していく。

問 比較検討を重ねた中に資金的な比較については検討材料に入っていたか。

答 町が負担する金額をできる限り抑制できるよう、財政部局と調整を図りながら検討を進めてきた。

問 返済計画について伺う。

答 学校教育施設等整備事業債を起債した場合、25年以内に償還することになり、償還方法については、利子負担の抑制となる元金均等償還を想定する。

問 25年後の町はどのようなになっていると想定しているか。特に労働人口は現在と比較してどう予想しているか。

答 さまざまなことが変化し、未来をすべて正確に見通すことは難しい。想定外を想定したうえで、その時々状況を柔軟に受け止めつつ「身の丈にあった」財政運営に努めていく。

問 受け入れる地域への説明は。その後どうなっているか。

答 説明会には至っていない。

問 跡地や校舎についてはどのような計画か。

答 西小学校および西が丘小学校を除き、統合後5カ年で解体。体育館については解体せず適切に管理する予定。

問2 今後の市街化区域についてどのように考えているか。

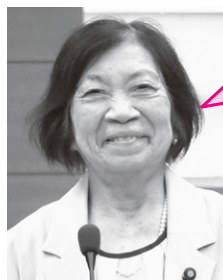
答 関係機関との協議調整に引き続き取り組んでいく。

問3 町道側溝・雨水樹の管理はどのようにしているのか。

答 地域の皆さまのご協力をいただきながら、適切な維持管理に努めていく。



人も町有財産も、適正なメンテナンスを



物価高のなか 子育て世代を助けて

【町の答え】
第3子以降の給食費を支援

日本共産党 福田 妙子 議員

給食無償化

問1 学校給食無償化に対する文科省の考えは。

答 令和7年2月に自由民主党、公明党、維新の会の合意で、まずは小学校を念頭に、地方の実情等を踏まえ令和8年度に実施する。その上で中学校への拡大についても速やかに実現するとの報道がある。

問 物価高にあえぐ子育て世代を助けていくことは、町の発展に繋がっていくのでは。

答 就学援助制度等を活用した支援を実施している。

問 町外に通う児童生徒の給食無償化は。

答 第3子以降の児童生徒は学校給食費相当額を上限として支援している。

問2 マイナ保険証の個人情報外部に知られることはないか。

答 カードの裏面に記載されている12桁のマイナンバーを見られても情報を引き出すことはできない。さまざまな安全対策をしている。

問 資格確認証を出す理由は。

答 国の運用に合わせてマイナ保険証が紐づけられてない場合は、申請によらず交付している。

問3 地域にとって学校の存在は。

答 大きな役割を果たしている。今後この役割をどう守り継承すべきか、大きな課題である。

問 1校統合再編と2校再編の財政面での違いは。

答 現時点では、財政面について具体的に答えられる数字は把握していないが、財政面を充分考慮し進める必要があるとの項目がある。事業費の見込みも含めて、総合教育会議において協議・調整していく。

問 地域の活性化を図るため、学校のなくなった地域の今後のまちづくりは。

答 今後は総合教育会議において協議・調整し地域に根差した小学校の役割と継承についても考える。



特に重要な施設の 明示を

【町の答え】
問題点等を検証し結論を出す

岩崎 勤 議員

設置条例制定

問1 設置条例の制定および改正について、町の公共施設において特に重要な施設の明示がされていないとのことであったが、明示はいつされるのか。

答 検討会議を開催し、改めて各施設所管課の意向や問題点等を検証し、結論を出していきたい。

問 今後の教育施設の設置および廃止についての考えは。

答 その件に関しても検討会議で協議していく。

問2 統合小学校基本設計(案)による事業費について、約56億円の建設費が提示されたが、現時点でも同じ金額でできるのか。

答 近年の資材や人件費の高騰が続いている状況を踏まえると、建設費は増加すると考えている。

問 計画の見直しはされているのか。

答 小学校の統合再編計画については一旦立ち止まり、計画の課題等について検証を行っているところで、現時点では見直しの予定はない。

問 財政政策に対する影響は。

答 十分に吸収できる財政状況にあると考えている。

問 バスの運行計画について現状は。

答 今後検討していく。

問3 文覚川と東第二幹線排水路の整備は。

答 多面的機能支払交付金を使って、県営事業として概ね整備が完了している。繁茂している草木については、土地改良区や周辺の方々と協力して維持管理をしている状況であるが、職員による対応も考えていきたい。



さくら堤公園近くの文覚川

オープン延期に なっているが

【町の答え】

早期にオープンできるよう進める

よしだ かつゆき
» 吉田 克之 議員



フ レ ン ド シ ッ プ

問1 フレンドシップハイツ・よしみの令和7年夏のオープンが延期になり、オープン日は未定との説明があったが、修繕の内容を踏まえ、いつになるのか。

答 再生整備工事は令和6年度に完了したが、再利用とした設備において長期未稼働の影響で修繕を要する箇所が判明したため、オープン日をお答えできる段階に至っていない。修繕が完了したうえで、早期にオープンできるよう進めていく。

問 修繕が完了しオープンまでの間、運営事業者とどのような準備が予定されているのか。

答 営業再開に向けて各種許認可の申請や契約を進め、飲食や人員配置などソフト面においても準備を予定している。

問 町民は早いオープンを期待している。今年度工事に着手して、いつ頃を目途にオープン時期を考えているのか。

答 オープン予定日は現時点では未定だが、早期の再開に向けて鋭意取り組んでいく。

問2 米の安定供給に向けた、イネカメムシ防除の状況と成果は。

答 吉見町農作物病害虫防除協議会が町の薬剤費補助を受けて、広域的な防除を実施した。2回の防除により一定の効果があつたものと認識している。

問 地域計画で10年後の将来をまとめたが、農家の現況と増産に前向きに取り組める施策、支援は。

答 農地中間管理事業を活用し、担い手を中心に農地の集積・集約化を推進すると共に、耕作放棄地の抑制に努める。地域内外から多様な経営体を募り、担い手を育成しながら生産者が意欲的に営農できる環境となるよう、関係機関と連携して取り組んでいく。



いつオープンするの？

町民体育祭の 開催方法の見直し

【町の答え】

理念を継承し代替事業を開催する

おおの はるやす
» 大野 陽康 議員



ス ポ ー ツ フ ェ ス ティ バ ル

問1 町民体育祭の開催方法を見直すに至った経緯の中で、特に大きな要因は何か。また、その内容はどのようなものか。

答 少子高齢化の影響等により、従来通りの開催方法では選手集めが困難となることで、行政区の参加が難しくなってきたことが挙げられる。見直しにより「スポーツフェスティバル」を代替事業として開催予定であるが、その趣旨はこれまでの町民体育祭の基本理念を継承し、「吉見町民が広くスポーツに親しみ、生涯スポーツの振興と健康の増進を図るとともに、町民相互の親睦を深める」こととしている。

問2 5月の神田町長の就任により、一旦立ち止まった「小学校統合・再編計画」は、現状ではどのように検討が進められているのか。

答 7月に課題を整理するために庁内検討会議（関係8課）を開催し検討を開始した。課題を整理した上で「総合教育会議」に報告し、協議・調整していく。

問3 小・中学校における水泳授業の実施状況はどうか。

答 学習指導要領に則り、授業時間内に必要な指導時間数を確保した上で、安全面に十分配慮し、計画的に実施している。

問 児童・生徒の泳力の現状はどうか。

答 「水泳運動の技能調査」（埼玉県）から、25m以上泳げる児童・生徒の割合が大きく減少していること、平泳ぎで泳げる児童とそうでない児童の二極化が見てとれる。

問4 吉見町の教職員の勤務実態の状況はどうか。

答 令和7年3月の調査結果によると、時間外在校等時間が月45時間を超過した教職員は小・中学校ともに4分の1、年間360時間を超過した教職員は半数以上となっている。



町民体育祭の開催方法を見直し、「スポーツフェスティバル」を開催



子どもたちの目の健康は

【町の答え】
ブルーライト対策進めていく

伊藤 えりか 議員

視力への影響

問1 GIGAスクール構想を進める前後で、子どもたちの目の健康状態について伺う。

答 タブレット端末が直接的な原因とは一概に言えないが、活用時間の増加が近視への影響要因の一つとなり得ることは、専門家からも指摘されている。文部科学省の指導参考資料をもとに、各校で端末の利用方法や家庭での使用に関するルールを定めている。

問 ブルーライト対策は行われているか。

答 現状では行っていないが、次に導入予定の端末にはカットフィルムを標準的に装備できるよう検討を進めていく。

問2 現在、外国人児童・生徒が何人程在籍し、どのような言語で育った児童・生徒が多い傾向にあるか。

答 小学校10名、中学校8名の計18名で、言語については中国語、ポルトガル語、シンハラ語、ウルドゥー語、英語である。

問 言語の壁から生じる孤立やいじめの事例はあるか。

答 言語や文化の違いから学校生活になじめないケースがあり、時には他の児童生徒に対して不適切な関わりをしてしまう事例も報告されていることから、状況を把握し必要な指導や支援を行っている。

問 先日、保護者面談で、翻訳機を十分に使いこなせず思うように意思疎通が出来なかったという話があるが、教育委員会はどうか考えるか。

答 保護者面談を実施する際には通訳者の活用も検討し出来る限り配慮していく。

問 町内で通訳が出来る方々によるボランティアと連携していく考えはあるか。

答 教育委員会としても、地域の人材の状況を踏まえ、どのように連携を図っていけるか検討していく。

教えてもらったルールを守ってICT端末を活用しよう



八丁湖周辺、遊歩道の点検整備を

【町の答え】
安全対策および維持管理に努める

公明党 宮尾 美千代 議員

安全整備

問1 八丁湖周辺は訪れる人も多く、遊歩道で事故が起きないためにも枯れ木の点検や整備が必要と思われる見解は。

答 八丁湖は護岸工事を実施。樹木伐採については、補助事業を活用し適宜進める。来園される皆さまに安心して快適に利用できるよう、安全対策および維持管理に努める。

問 八丁湖公園内のトイレの洋式化は。

答 洋式トイレは必要だが、事業の優先順位がある。まずはトイレの清掃を丁寧に行う。

問2 近年地域防災に重要な役割を果たしている消防団の団員数減少や高齢化など消防団活動の維持が難しくなっている。団員確保について町の現状と取り組みは。

答 吉見消防団は令和7年4月現在、86人の団員が在籍、9人の欠員が生じている。比企広域消防本部では団員の処遇改善の一環として出動手当の見直しを行い、令和5年度から災害や訓練等の活動実績に応じた出勤報酬の創設と出勤に伴う交通費の支給がなされている。今後、関係機関と連携を図り、消防団の魅力発信をはじめ、団員の負担軽減、活動しやすい環境づくりに取り組む。消防団の認知度の向上および活動に対する理解促進を図り、団員の加入促進につなげる。

問 町として団員募集はどのようにしているのか。

答 広報よしみや広報ひきへの掲載、関係機関および消防団協力事業所へのポスター掲示やリーフレット設置などを通じて団員募集を行っている。そのほか団員による勧誘活動も行っている。



みんなが訪れる八丁湖の安全を

産後ケア事業拡充 の考えは



【町の答え】

近隣状況や現事業検証し検討する

あきやま まみ 議員
≫ 公明党 秋山 真美 議員

産後ケア

問1 子育て支援・産後ケアについて伺う。出産後の母親の心と体を支え、育児に不安なく向き合うために、希望するすべての人がケアを受けられる体制の構築は重要。現在実施されている町の産後ケア事業は。

答 育児不安等を抱える出産後1年以内の母親およびその乳児を対象に、1回の出産につき7回を限度として、助産師が居宅を訪問し、身体的・心理的ケア等を実施する居宅訪問型事業を実施している。

問 今後、産後ケア事業拡充の考えは。

答 産後ケア事業には町が実施している居宅訪問型のほかに、通所型と短期入所型事業がある。これらの事業では、育児疲れの回復や発達相談等の個別支援の実施に加え、仲間づくりを目的とした利用者同士の交流も可能となるため、居宅訪問型ではカバーできない幅広いニーズに対応した支援が期待されている。切れ目のない支援を提供し、妊産婦や乳幼児が安心して健康な生活ができるよう、現在実施をしている居宅訪問型事業の効果や利用者ニーズを検証するとともに、町の子育て支援事業との連携や近隣自治体の実施状況等を勘案しながら、今後の産後ケア事業の拡充について検討していく。

問2 小学校統合に関する町に届いている住民の声について伺う。

答 町の代表メールあてや意見箱に、10件以上寄せられ、その他にも、電話での問い合わせもある。内容については、計画どおり1校の統合再編を進めてほしいとのご意見が多く占めているほか、統合再編が立ち止まったことへの心配や不安の声も寄せられている。



ワクチン接種への 助成継続を



【町の答え】

町の中で検討し再開できれば

すぎた しのぶ 議員
≫ 杉田 しのぶ 議員

带状疱疹予防

問1 4月から助成制度を開始して4ヵ月経過したが、実績は。

答 接種者45人、助成額24万3350円、町が予算化した対象者からみた接種率は0.5%。

問 町では重症化リスクが高まる50歳～64歳の人たち、5歳刻みになっている定期接種の狭間にいる人たちへの制度として、助成を始めた。こうした制度開始に至った理由からみても、4年間は助成制度継続、少なくとも当初予定した750万5000円の予算が尽きるまでは継続すべき。

答 住民の健康は大切な問題と認識しており、町の中で検討し、再開できればと思っている。

問2 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条には、学校の設置は教育委員会の所管とある。第1回総合教育会議では、教育委員会は1校統合新設で一致している。第2回総合教育会議でも教育委員会が1校統合新設を堅持した場合、議論の余地はないと考える。双方が平行線であれば、住民の代表機関である議会に判断を仰ぎ、進めるべき方向を決めるしかないと思うがいかがか。

答 総合教育会議は、幅広く自由な意見交換を行う「協議」と教育委員会の権限に属する事務について、地方公共団体長の権限との調和をはかる「調整」の場。こうした観点から協議・調整に向け努力したい。

問 現小中学校設置条例は1校になっている。この条例が変わらない限り、新年度予算は1校統合の予算を組むべきと私は思うがいかがか。

答 財政部局としては、議員の発言のとおりと答えるしかない。

带状疱疹予防接種助成

令和7年度中に50歳以上となる方

* 定期接種対象者は除く*

実施期間：R7. 4. 1～R8. 3. 31

・生ワクチン 5000円×1回
・組み換えワクチン 18000円×2回





公共交通に 自動運転バス導入を

【町の答え】
調査研究していく

やなぎや いずみ
柳谷 泉 議員

公共交通

問1 吉見町都市計画マスタープランにおいても自動運転バスの導入がうたわれているが、導入の検討は。

答 持続可能な地域公共交通を安定的に供給していく手段として調査研究していく。

問 デマンド型交通にも限界がある中でライドシェアの導入について検討は。

答 国では、ライドシェア普及のための検討もされているので、引き続き動向を注視していく。

問 一律に年齢で免許証返納を求めることには反対だが、免許証を返納しやすい環境整備として、免許証返納者に対するデマンド型交通割引制度や、通院でデマンド型交通を往路利用したものの、診察時間が予測しがたいため復路を予約できない現状の改善は。

答 町で安心して暮らしていくため、どのような手段が良いのか、他の自治体の取り組みなども含めて関係課と調査研究していく。

問2 ウエルシア薬局が行っている移動販売事業を継続していくための課題は。

答 現在の週5日、販売台数1台体制での運行で、新たに販売場所を増やすことが難しい。

問 今後さらに需要が増えていくと考えるなかで、現在の事業者や他の事業者を含めて補助金等の検討が必要と考えるが。

答 現在の事業者補助金がないプロポーザルによる業者選定を経て事業者を決定しているので、現在の事業者を含めて、再度事業者の募集を行い、プロポーザルなどの事業者選考の手続きを経て、決定事業者へ補助金を出すプロセスを踏む必要がある。



移動販売車「うえたん号」

一部事務組合報告

令和6年度 決算を認定

北本地区衛生組合議会定例会 ▶▶ 福田妙子 議員

日 時 令和7年7月31日(木) 午前9時から

場 所 北本地区衛生組合議場

出席議員 宮尾美千代 伊藤えりか 福田妙子

本会議の前に研修室で全員協議会が行われ、議会運営委員会委員長報告のなかで定例会の日程および会期等の報告が行われました。続いて、本会議場において本会議が開催されました。会期の決定等が行われ、管理者提出議案の一括上程が行われました。

付議された議案

○議案第 9号 令和6年度北本地区衛生組合一般会計歳入歳出決算は原案のとおり認定されました。

○議案第10号 北本地区衛生組合職員の育児休業等に関する条例及び北本地区衛生組合職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正をするもので原案のとおり可決されました。

令和6年度 決算を認定

比企広域市町村圏組合定例会 ▶▶ 吉田克之 議員

日 時 令和7年8月7日(木) 午前10時から

場 所 東松山市議場

出席議員 宮崎雄一 吉田克之

付議された議案

○議案第25号 専決処分について（識見監査委員 山田幸平氏の選任）

○議案第26号 職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

○議案第27号 職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例

○議案第28号 令和7年度一般会計補正予算（第1号）

○議案第29号 令和7年度消防特別会計補正予算（第2号）

○議案第30号 令和7年度斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計補正予算（第1号）

○議案第31号 令和7年度介護認定及び障害支援区分審査会特別会計補正予算（第1号）

○議案第32号 令和7年度公平委員会特別会計補正予算（第1号）

議案第33号から第37号は令和6年度一般会計および各特別会計決算

いずれも原案のとおり認定、可決されました。

学校給食 調理配膳を視察

期日 令和7年7月2日（水）
場所 吉見町学校給食センターおよび
吉見町立東第一小学校

調査項目

- 1) 学校給食センターの施設・設備の整備状況および熱中症対策の取組状況
- 2) 学校給食の実施状況および学校での配膳状況

学校給食センターは、使用開始後25年が経過し、令和5年度に調理機器等の大幅な入替を実施。また、令和6年4月より調理等業務を民間委託し、その後も学校給食センターの施設・設備の管理は引き続き町が行なっています。

学校給食センター施設管理と熱中症対策

老朽化している設備や備品は、今後、計画的に更新していく。暑さ対策は、町、調理等業務受託者、それぞれの役割の中で連携して対応し、服装の見直しや休憩時間の設定などを実施していると説明がありました。異常な暑さが続いているので、受託者とも連携をし、職場環境の改善に努めるよう要望しました。

学校給食の実施状況

児童生徒の成長に必要な栄養素をバランスよく摂取するための献立や主食の提供割合、主菜等の提供数、また、食材高騰に対する対策について説明がありました。国の交付金や町の一般財源を、不足した食材購入費にあてることで、保護者への新たな負担が生じないように対応しています。

給食配膳する際の左利き児童への対応

給食によっては難しい時もあるが、左利きの子は持ち方を変えたり、上手に対応している。学校現場では柔軟な対応を取っていると説明がありました。配膳時の道具類を更新する際は、右利きでも左利きでも使いやすいものに変更していくよう要望しました。



左利きでは使いづらいおたま類

「主食である米飯、パン、めんの提供割合はどうなっているのか」の質疑に対し、「令和7年度は、年間190回の給食を提供する予定です。その内、米飯が133回、パンが20回、めんが37回を予定しております」との答弁



米飯は吉見町産米を週3.5回提供している

「主菜等の提供数は、自治体によって違っていると思いますが、吉見町では、献立内容にもよりますが、できる限り3品提供するように心がけています」との答弁



給食の調理作業を見学ホールから視察



文部科学省が定める学校給食摂取基準に基づき、児童生徒の成長に必要な栄養素をバランスよく摂取するための献立を考えており、今後も給食の時間が待ち遠しくなるような、魅力ある献立の提供に努めますとの説明

議員活動レポート!!

「自分は大丈夫と思わないで」議員が防災の研修

県内23町村の議員を対象とした研修が10月8日フレサよしみ大ホールで行われ、町議会議員が参加しました。講師の鍵屋一(かぎや はじめ)氏は現在は福祉防災コミュニティ協会代表理事として、行政や地域に向けて、また災害時に避難が難しい方や配慮が必要な方に向けて、情報発信を続けておられます。

講演では備えと支援の両輪が必要としたうえで、「自分だけは大丈夫と思わないで、備えを大切にしてください」と確かな備えを訴えました。さらに、



「行政や地域との連携、声かけを仕組み化、普段から地域とつながる、人に声をかけられる関係性をつくるのが極めて大切」と話しました。今回の研修では、議会の役割に対する助言があり、災害における情報収集と発信に向けた取組に活かしてまいります。



表紙の写真を募集中!!



『よしみぎかい』表紙に町民の皆さまからの、見ている人も笑顔になれる、笑顔の写真を募集します。

笑顔になれる議会広報でありたいという願いからです。

隣の二次元コードをスマートフォンのカメラで読み取って、送信ください。お待ちしております。

※画像の転載、複製、改変等は禁止いたします。



編集後記

9月定例会では令和6年度会計決算報告が行われ、町が抱えるさまざまな課題が討論されました。また、八丁湖やさくら堤公園周辺などで、安全と景観を守る取組に議員から提案もありました。学校給食の視察では何十年ぶりかで給食を食べる機会を得ました。暮らしやすいまちづくりのために、これからも皆さまの声を町へ届けていきたいと思ひます。

(福田)

※画像の転載、複製、改変等は禁止いたします。

議会だより編集特別委員会

委員長	福井 学
副委員長	杉田 しのぶ
委員	宮尾 美千代
委員	福田 妙子
委員	伊藤 えりか
相談役(議長)	宮崎 雄一

この議会だよりは再生紙を使用しています。